

科目名	現代アメリカ論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	山崎 由紀		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-330014	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	この講義の目的は、民衆の視点を通して、現代アメリカの諸問題を理解することである。とりわけ重要となる19世紀から20世紀への世紀転換期に生じた社会的・政治的・経済的な問題を概観した後、それらの問題の担い手となった多様な人々・集団に焦点をあて、彼らが20世紀後半・21世紀のアメリカの政治・社会・文化のあり方にどのように影響を与えてきたかを考察する。				
学修到達目標	現代アメリカの持つ様々な問題を、歴史的背景を理解した上で、自分で考察・分析できる力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	第1回：イントロダクション
第2回	第2回：世紀転換期：産業化と移民社会
第3回	第3回：世紀転換期：格差・階級の形成と政治社会のリベラル化・保守化

第4回	第4回：人種・民族と社会：WASP社会の成立
第5回	第5回：人種・民族と社会：非WASPの白人たち
第6回	第6回：人種・民族とアメリカ社会：黒人
第7回	第7回：人種・民族とアメリカ社会：先住民
第8回	第8回：人種・民族とアメリカ社会：ヒスパニック・ラティーノ
第9回	第9回：人種・民族とアメリカ社会：アジア人
第10回	第10回：移民大国アメリカの多文化主義と排除・包摂
第11回	第11回：宗教とアメリカ社会：ピューリタンの遺産と福音主義の台頭
第12回	第12回：宗教とアメリカ社会：移民の教会としてのカトリック
第13回	第13回：階級・格差から見るアメリカ社会

第14回	第14回：ジェンダーから見るアメリカ社会
第15回	第15回：まとめと展望：現代アメリカ社会と時事的諸問題
第16回	期末試験またはレポートのいずれかによる。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。授業の中で指定するテキストを予習すること。
【復習】時間・内容	2時間。毎回、前回のミニ・クイズについて正答を発表するので、不明点など重点的に復習すること。

成績評価	
評価基準・方法	期末レポートと学期内課題を50%、コメントカード（ミニ・クイズ）の提出回数・内容を30%、出席と授業貢献を20%として成績判定を行う。成績は本学の基準に従う。
フィードバック方法	試験後に模範解答 and/or 講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史：テーマで読む多文化社会の夢と現実』（2002年、有斐閣）
受講上の留意点等	前年度までに学んだ「アメリカ史概説」や「アメリカ文化論」などの授業について、よく復習しておくこと。日頃から、アメリカ関連のニュースなどを注意して見聞きしておくこと。
JABEE	